

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第4回理事会 開催日：7月20日。出席者：久松会長，ほか 35 名。

1. 春秋講演大会の講演概要集を有償頒布に改める件
現在会誌「鉄と鋼」に含まれている講演概要集を昭和63年度から独立した「講演論文誌」として春秋各3冊計6冊を刊行し，有償頒布することに改め，本会財政の安定化を図ることになり，評議員会，臨時総会に諮ることになった。

2. 理事歌橋千之君辞任の件並びに理事候補推薦の件
理事歌橋千之君より辞任の申し出があった。後任理事候補として，三枝 誠君（川崎製鉄（株）取締役）を推薦することを決定した。

3. 表彰規程改訂の件

渡辺義介記念賞および西山記念賞は，同規程第17条中「賞状および賞金」とあるを「賞状および楯」に改める内容の表彰規程中一部変更を決定した。

企画委員会

第3回企画委員会 開催日：7月13日。出席者：竹内委員長，ほか 17 名。

1. 第6回 ISOTC 17 Executive Committee 会議報告

6月4，5日マンチェスターで開催。本会議の重点課題は，TC 17 ポリシーを踏まえて実効ある国際規格制定の生産性向上のため具体的方策を確立することであり，12件の具体策が決議された。

2. 臨時協会事業検討委員会答申に対する対応の検討について

協会の活動範囲，事業規模，特別資金等標記委員会答申の経緯報告があった。特別資金会計の内，西山，白石各資金の将来の元本割れを防ぐため西山講座については3テーマ3～4回（現行3テーマ6回），白石講座については1テーマ1～2回（現行2テーマ3回の開催を考えた）。

研究委員会

第2回研究委員会 開催日：7月7日。出席者：田中委員長，ほか 13 名。

1. 低炭素鋼板研究委員会報告
2. 学生見学会実行委員会報告
3. 第13回鉄鋼工学セミナーの件
4. 昭和62年度 石原・浅田研究助成金交付研究の審査
5. 排煙脱硫についての共同研究関係特許の処置の件
6. 共同研究会原子力部会関係特許8件の処置の件
7. 臨時協会事業検討委員会答申に対する対応について
8. 共同研究会の現況および答申に対する対応の紹介

9. 特定基礎研究会報告
10. 鉄鋼基礎共同研究会報告および審議
11. その他研究会運営基準（案）の審議
12. 研究会資料の引用について

ISO 運営委員会

ISO/TC17 諮問部会 開催日：7月29日。出席者：青木部会長，ほか 16 名。

1. ISO 規格の成立状況
2. DIS コメント処理結果
3. DP 377/1,2 の進捗状況
4. SCI USA 及び Canada 出張報告
5. 第6回 TC 17/EC 会議（於マンチェスター）出張報告

共同研究会

第96回計測制御部会 開催日：7月23，24日。開催地：神鋼・神戸。出席者：高田部会長，ほか 138 名。

1. 研究報告
製鉄関係 4件，製鋼関係 3件，圧延関係 10件，製品・半製品関係 4件，新技術・改善技術 7件，その他 2件の合計 30件の論文発表があった。
2. 工場見学
神鋼・神戸 棒鋼工場

特定基礎研究会

昭和62年度第1回特定基礎研究会運営委員会 開催日：6月23日。出席者：田中委員長，ほか 19 名。

1. 昭和61年度特定基礎研究会費予算実績報告
2. 各部会活動報告
3. 研究テーマ単独研究依頼について
4. 臨時協会事業検討委員会答申に対する対応について

第5回鉄鋼材料の相界面・結晶粒界の設計と制御部会 開催日：7月2日。出席者：石田部会長，ほか 9 名。

1. 特定基礎研究会運営委員会報告
2. 研究報告「界面における問題点」

高級ラインパイプ研究委員会

第2回BT分科会 開催日：7月10日。出席者：川口主席，ほか 8 名。

1. Pressure Reversals の力学的検討。
(1) 前の水圧試験で残った欠陥からの破壊の原因の研究
(2) Pressure Reversals について
(3) 文献資料 Further Studies on Elastic-Plastic Stable Fracture Utilizing the T* Integral (F. W. BRUST, 他) の検討。

2. その他.

鉄鋼基礎共同研究会

鉄鋼の急速凝固部会 開催日：7月14, 15日. 開催地：
新日鉄仙石芙蓉荘. 出席者：大中部会長，ほか 36 名.
研究発表

1. 過冷感受性を高める溶鋼処理
2. CO₂ レーザーによる Fe-3%Si 合金表面の急速溶

解凝固

3. 超急冷粉の固化技術の基礎
4. アーク粒滴凝固プロセスの特徴
5. Al-Fe 合金の急冷凝固組織と相分解
6. アトマイズ法により製作した金属微粉末について
7. ストリップキャスティングにおける流れの形態と凝固組織，铸肌その他の性質との関連性

第 14 回固体イオニクス討論会

1. 主 催 固体イオニクス学会
2. 共 催 日本鉄鋼協会，他
3. 日 時 昭和 62 年 11 月 12 日 (木)・13 日 (金)
4. 会 場 鳥取市白兎会館 (鳥取市末広温泉町)
5. 内 容
 第一日 (11 月 12 日) 9:20～
 [カチオン導電体：物性] 10 件
 [特別講演，I] (15 時 00 分～)
 Sulphate Based Solid Electrolytes: Properties and Applications (Chalmers Univ.) Arnold Lunden
 [特別講演，II] (15 時 50 分～)
 ニーズとシーズからみた固体電解質
 (阪大工) 幸塚 善作
 [アニオン導電体：合成，物性，構造] 6 件
 [センサ] 4 件 [有機固体電解質] 4 件

第 2 日 (11 月 13 日) 9:00～

- [燃料電池およびその材料] 10 件
 [その他の応用] 4 件
 [カチオン導電体：合成と物性] 7 件
 [ガラス] 7 件 [物性：理論] 6 件
 [カチオン導電体：構造] 6 件
6. 申込締切 10 月 10 日 (土)
 7. 参加登録費 (予稿集 1 冊を含む)
 共催学会会員 5,000 円，当日 6,000 円
 講演予稿集のみ 3,000 円
 8. 懇親会 11 月 12 日 (木) 17 時 30 分頃から，白
 兎会館 会費：5,000 円，当日 6,000 円
 9. 申込先 〒680 鳥取市湖山町南 4-101
 鳥取大学工学部資源循環化学科
 岩原 弘育，江坂 享男
 電話 (0857) 28-0321. 内線 4450, 4451)

新刊案内

“Blast Furnace Phenomena and Modeling”

鉄鋼基礎共同研究会高炉内反応部会編

(委員長：大森康男・東北大学選鉱製錬研究所教授)

ELSEVIER APPLIED SCIENCE PUBLISHER LTD 発行

A 5 判 上製本 631 頁 英文 定価 会員特価 (200 部限定) 13,000 円 (送料別)

鉄鋼基礎共同研究会，高炉内反応部会 (昭和 52—57 年) では，高炉解体結果の総合的調査ならびに高炉トータル数学モデルの開発を中心課題として，炉内における固気液の移動現象，炉内における装入物の性状変化，レースウェイ現象の解析，炉下部におけるスラグ-メタル反応などについて研究した成果を我国のみならず，海外の技術者，研究者にも広く紹介するため，英文の Blast Furnace Phenomena and Modeling を刊行致しました。本書は，次の 3 編，1. 高炉内現象，2. 高炉のモデル化，3. 将来の高炉像に大別して，高炉内反応部会に提出された貴重な研究ならびに技術報告を紹介するとともに，部会の大学，企業の優れた委員メンバーの協力によつて，高度の高炉技術が基礎的，学術的に理解できる教科書として執筆，編集されております。今後，さらに高度に発展することが期待される製鉄技術の基礎的学習書として製鉄関係の技術者，研究者のみならず，金属製錬にたずさわる大学院学生を含む大学関係者に購読をお薦めいたします。

(本書は海外で ¥75 で販売されております)

申込方法 次のいずれかの方法で送金願います。

- 現金書留
- 郵便振替 (東京 7—193 番)
- 銀行振込 (第一勧業銀行東京中央支店 (普) No. 1167361)

問い合わせ先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F

日本鉄鋼協会 庶務課 水野 電話 03-279-6021 (代)